

2024年04月 現在

## Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle

### Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License

本商品は、Arcserve Backup 19 for Windowsのオプション商品です。

本商品を利用することで、VMware環境やHyper-V環境といった仮想化環境上の仮想マシンやクラウド上の仮想マシンのバックアップが可能となります。

また、VMware環境やHyper-V環境の仮想マシンのバックアップでは、rawレベルバックアップ、ファイル単位等の混在モードも含め、様々なバックアップ運用が可能です。

本商品は、以下の後継商品です。

- Arcserve Backup 18.0 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
- Arcserve Backup 18.0 for Windows VM Agent per Host License

- **Hyper-V環境 (ホストOS)**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY / マルチベンダーサーバ・クライアント

---

- **VMware環境 (バックアッププロキシ)**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY / マルチベンダーサーバ・クライアント

---

- **ゲストOS (Hyper-V環境)**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY / マルチベンダーサーバ・クライアント

---

- **ゲストOS (VMware環境)**

PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMEQUEST 1000シリーズ / PRIMERGY / マルチベンダーサーバ・クライアント

---

- **ゲストOS (クラウド)**

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Hyper-V環境 (ホストOS)**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /  
Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit)

---

- **VMware環境 (バックアッププロキシ)**

Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / Windows Server 2012 R2(64-bit) /  
Windows Server 2012(64-bit)

---

- **ゲストOS (Hyper-V環境)**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /  
Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit)

---

- **ゲストOS (VMware環境)**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /  
Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for  
Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64) /  
Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)

---

- **ゲストOS (クラウド)**

Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) /  
Windows Server 2012 R2(64-bit) / Windows Server 2012(64-bit) / Windows Server 2008 R2(64-bit) /  
Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) / Red Hat  
Enterprise Linux 6 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)

### 1. VMware vStorage API for Data Protection (VADP) と連携したバックアップ・リストア

VMwareが提供している VADPと連携し、ゲストOSのファイルとデータを保護できます。

バックアップには、以下の3つのモードがあります。

#### (1) rawモード

ゲストOS全体をバックアップ・リストアすることができます。

また、バックアップジョブ設定時にファイル単位でのリストアを許可することで、復旧時にホストOS上から認識されたファイル単位での復旧が可能となります。

#### (2) ファイルモード (ゲストOSがWindows環境の場合)

ゲストOS内のユーザデータ (システムを除く) をボリューム単位でバックアップし、ファイル単位でリストアすることができます。

#### (3) 混在モード (ゲストOSがWindows環境の場合)

rawモードとファイルモードを併せた運用が可能です。フルバックアップは、rawモードで行い、差分バックアップは、ファイルモードで行います。(ローテーションスキーマのみ対応)

また、バックアップジョブ設定時にファイル単位でのリストアを許可することで、復旧時にゲストOS上から認識されたファイル単位での復旧が可能となります。

### 2. Hyper-V環境のバックアップ・リストア

Hyper-V環境のゲストOSのファイルとデータをホスト上から保護できます。

バックアップには、以下の3つのモードがあります。

#### (1) rawモード

ゲストOS全体をバックアップ・リストアすることができます。

また、バックアップジョブ設定時にファイル単位でのリストアを許可することで、復旧時にホストOS上から認識されたファイル単位での復旧が可能となります。

#### (2) ファイルモード (ゲストOSがWindows環境の場合)

ゲストOS内のユーザデータ (システムを除く) をボリューム単位でバックアップし、ファイル単位でリストアすることができます。

#### (3) 混在モード (ゲストOSがWindows環境の場合)

rawモードとファイルモードを併せた運用が可能です。フルバックアップは、rawモードで行い、差分バックアップは、ファイルモードで行います。(ローテーションスキーマのみ対応)

また、バックアップジョブ設定時にファイル単位でのリストアを許可することで、復旧時にゲストOS上から認識されたファイル単位での復旧が可能となります。

### 3. ゲストOSのリモートバックアップ運用 (VMware環境・Hyper-V環境・クラウド環境)

ゲストOSに本製品をインストールすることで、物理マシンと同様な運用イメージでArcserve本体へのリモートバックアップ・リストア運用が可能です。

また、Linux環境においては、ファイル単位のバックアップ・リストアが可能となります。

なお、安価で導入できるよう、ゲストOS専用として以下の製品と同等のライセンスが同梱されています。

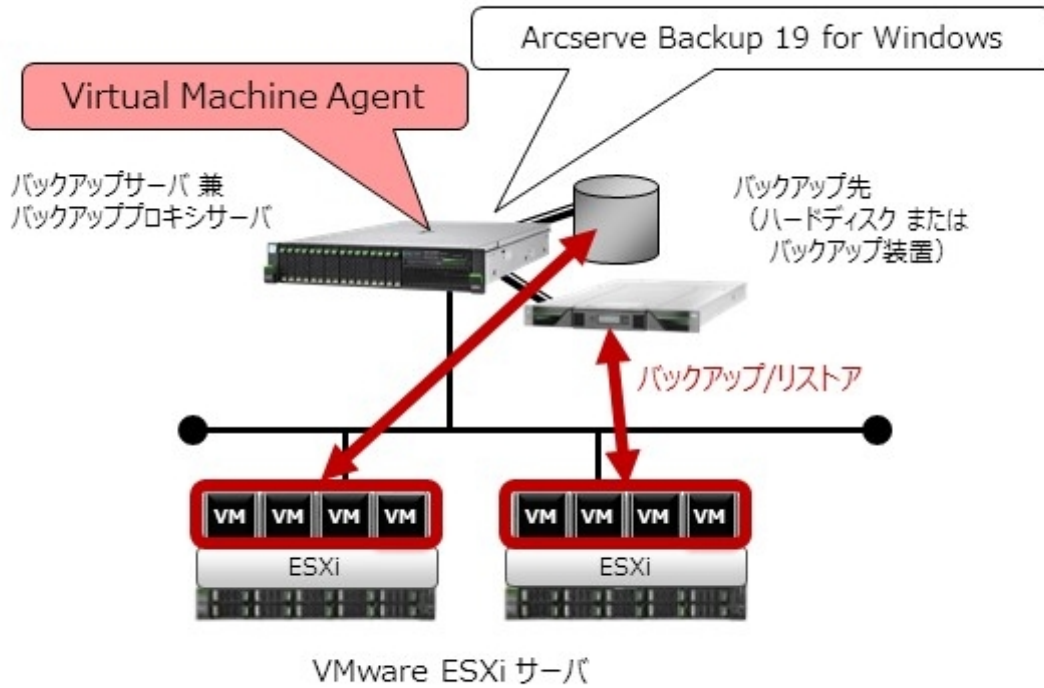
#### (1) Windowsマシンのリモートバックアップ

- ・ Arcserve Backup 19 Client Agent for Windows (本商品と同時にインストール)
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files (仮想環境専用)

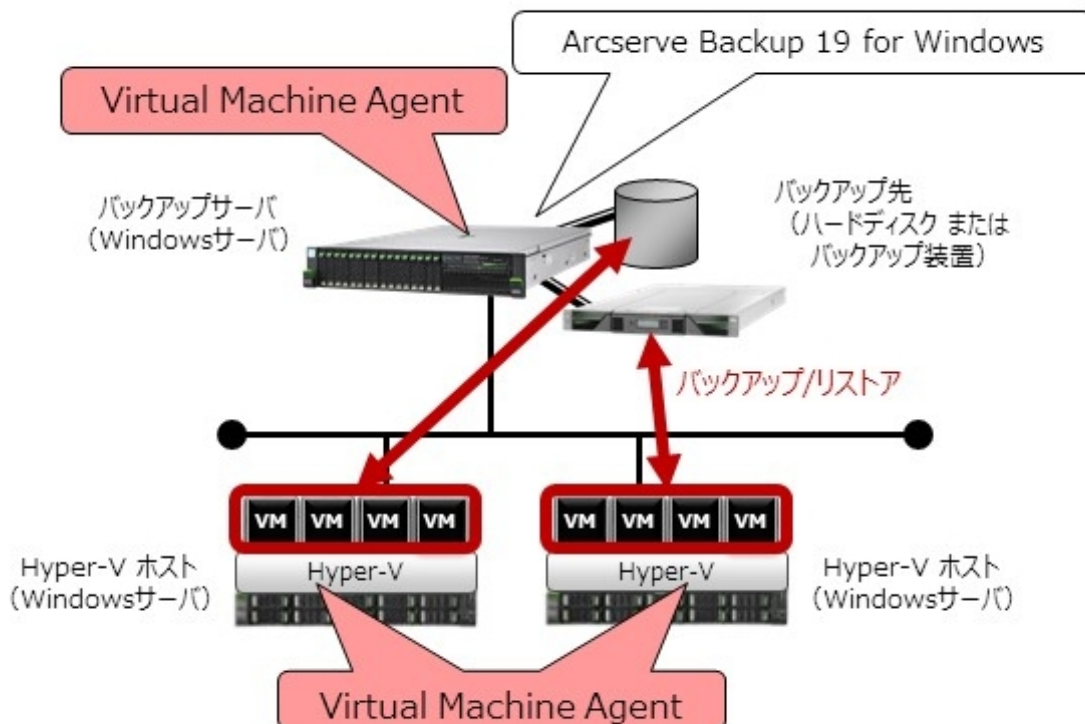
#### (2) Linuxマシンのリモートバックアップ

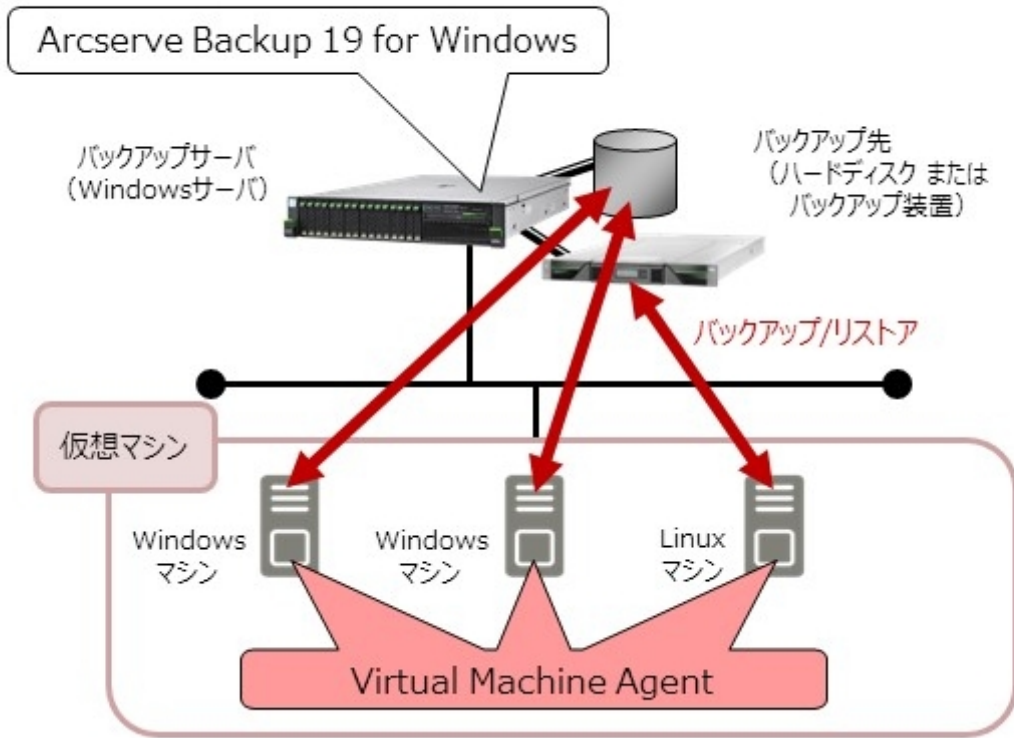
- ・ Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux

【VMware環境におけるファイルモード・混在モードでの構成イメージ(VADP)】



【Hyper-V環境におけるファイルモード・混在モードでの構成イメージ】





## 新規機能

18.0 から 19の機能強化項目は、以下のとおりです。

### 1. Arcserve Backup 19 for Windows 対応

Arcserve Backup 19 for Windows に対応しました。

---

### 2. Windows Server 2022 対応

Windows Server 2022 および、Hyper-V環境に対応しました。

## 標準添付品

- ・ オンラインマニュアル

- ・ Arcserve Backup Agent for Virtual Machines ユーザ ガイド (PDF)



### サポートバンドル商品

メディアとライセンスの他、アップグレード権（5年間）とSupportDesk（5年間）がついております。

- ・ Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle (5年間サポート付)
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License (5年間サポート付)

### サポート非バンドル商品

メディアとライセンスの他、アップグレード権（1年間）がついております。

富士通のサポートが必要な場合は、別途SupportDeskをご契約ください。

- ・ Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
- ・ Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License

### 1. サポートバンドル商品について

本商品には、5年間のSupportDeskをご利用いただく権利がバンドルされた「サポートバンドル商品」がございます。サポート期間は、富士通倉庫出荷日の5年後の同日を含む月末日となります。

富士通のサポートを必要とする場合は、本商品を購入ください。

#### (1) サポートの種類について

・Arcserve Backupのサポートバンドル商品には、「平日サポート」、「24時間サポート」の2種類があります。

詳細は「留意事項」 - 「サポートバンドル商品の内容について」を参照ください。

・商品購入後に「平日サポート」から「24時間サポート」商品への変更、もしくは、「24時間サポート」から「平日サポート」商品への変更は行えません。ご注意ください。購入間違いの場合は、買い直していただく必要があります。

#### (2) サポートの契約について

・本商品にバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポート期間満了時に、サポートを継続するには、別途、SupportDesk契約の更新が必要です。バンドルサポート終了後のサポートを手配いただくようお願いいたします。

バンドル期間以降は月額サポートを必ず切れ間なく契約する必要があります。サポート開始日は、バンドル期間終了日の翌日に設定してください。

### 2. ライセンスの選択について

本商品は、バックアップする仮想環境に応じて、以下の商品を選択ください。

詳細については、「購入方法-2」から「購入方法-4」を参照してください。

#### (1) Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle

バックアップする仮想マシン（VMware, Hyper-Vおよびクラウド）の数、および仮想環境毎に、1本購入してください。

#### (2) Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License

Guest Based Virtual Machines Agent Bundle と同一機能を提供します。

仮想環境（VMware, Hyper-Vのホスト）1台に対して、1本購入することで、仮想マシンの数に制限なく導入できます。

### 3. VMware環境での購入方法

#### (1) Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle

バックアップする仮想マシンの数、およびバックアッププロキシサーバの台数毎に1本、本商品を購入してください。

#### (2) Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License

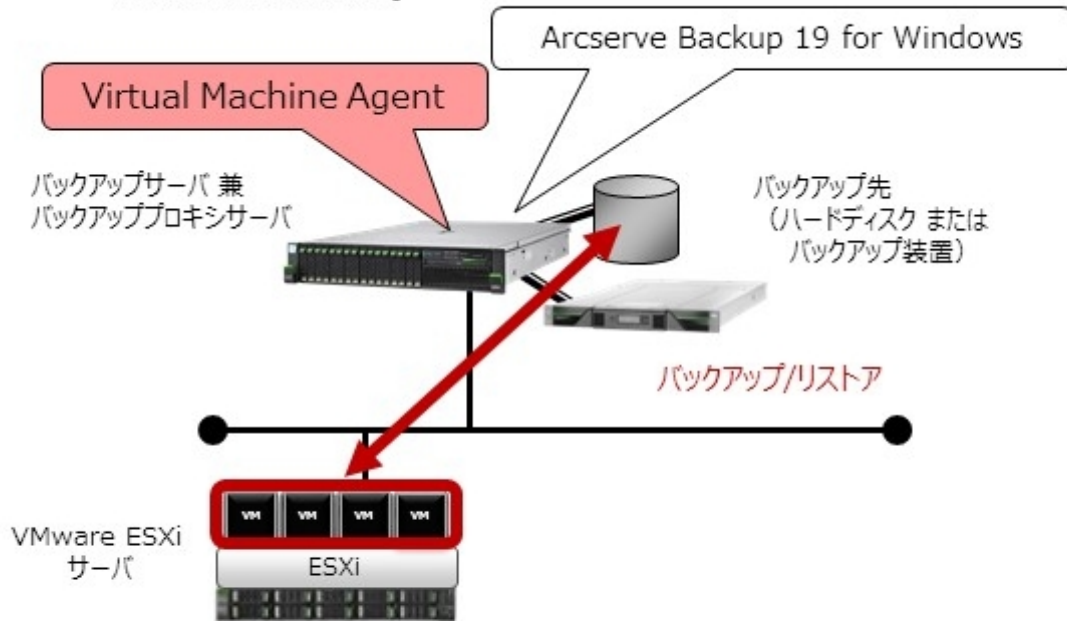
仮想マシンが3台以上の仮想環境をバックアップする場合、または、仮想環境（ホスト）が複数ある場合は、仮想環境毎に、本商品を1ライセンス購入してください。

なお、本商品のライセンス構成は、以下の通りです。

- ・仮想マシンの台数は無制限
- ・バックアッププロキシサーバ（VMware）に1ライセンス

以下にそれぞれのVMware環境の構成に応じた各商品のライセンス数について、例で説明します。

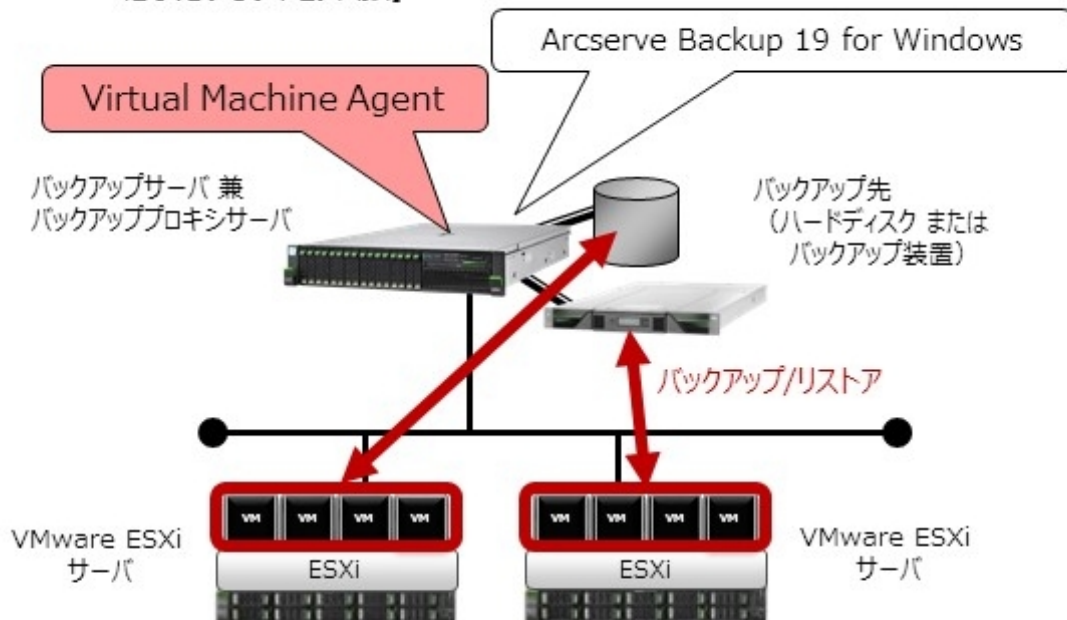
【購入例 1 :バックアップ対象がVMware環境上の4つの仮想マシンの場合に必要とするライセンス数】



商品名	ライセンス数
Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle	5 (ゲストOS× 4、バックアッププロキシサーバ× 1)
Arcserve Backup 19 for Windows	1 (バックアップサーバ)

#### VM Agent per Host License の購入例

【購入例 2 :バックアップ対象が2つのホスト上の仮想マシン(合計8つ)の場合に必要なライセンス数】



商品名	ライセンス数
Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License	2 (ゲストOS× 8、バックアッププロキシサーバ× 1)
Arcserve Backup 19 for Windows	1 (バックアップサーバ)

## 4. Hyper-V環境での購入方法

(1) Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle

バックアップする仮想マシンの数、および Hyper-Vホスト毎に1本、本商品を購入してください。

(2) Arcserve Backup 19 for Windows VM Agent per Host License

仮想マシンが3台以上の仮想環境をバックアップする場合、または、仮想環境（ホスト）が複数ある場合は、仮想環境毎に、本商品を1ライセンス購入してください。

なお、本商品のライセンス構成は、以下の通りです。

- ・仮想マシンの台数は無制限
- ・Hyper-Vホストに1ライセンス

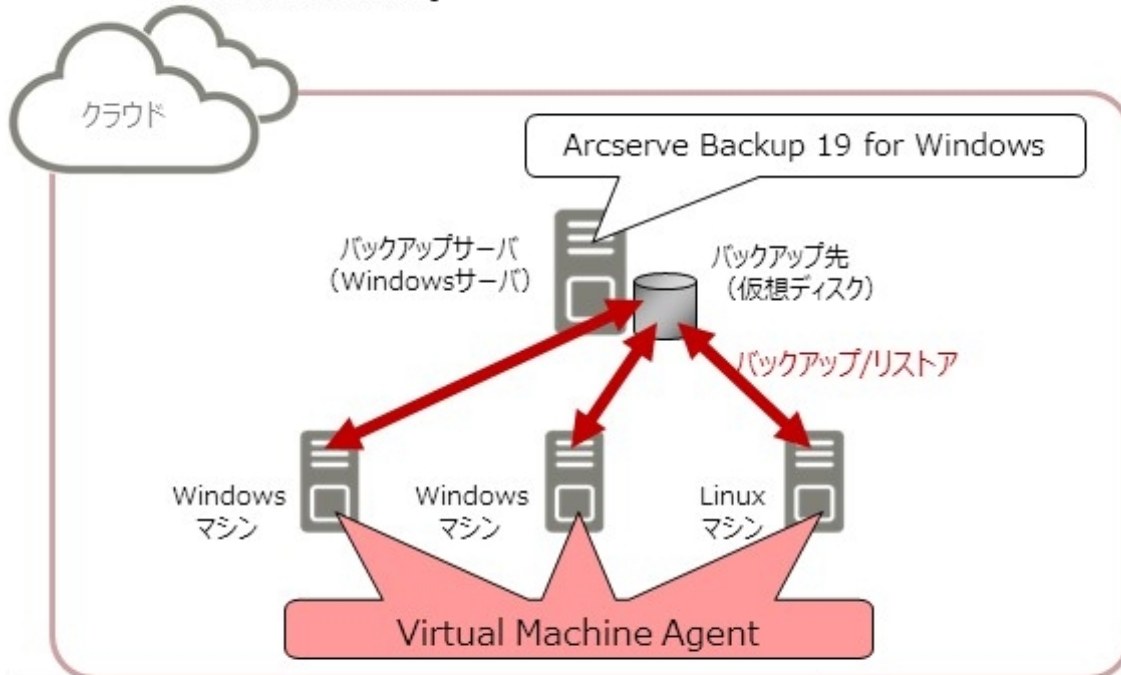
## 5. クラウド上の仮想マシンでの購入方法

バックアップする仮想マシンの数毎に1本、以下の商品を購入してください。

- ・Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle

### クラウド環境での購入例

【購入例3:バックアップ対象がクラウド上の3つの仮想マシンの場合に必要とするライセンス数】



商品名	ライセンス数
Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle	3 (ゲストOS×3)
Arcserve Backup 19 for Windows	1 (バックアップサーバ)

## 6. インストールプログラムについて

本商品は、ライセンスキーのみ提供されます。

インストールプログラムは、Arcserve Backup 19 for Windows製品のDVDを使用してください。

## 関連ソフト

なし

Arcserve Backup 19 for Windowsに準じます。

### 1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品は、以下のOS上で、64ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2012(64bit)
- Windows Server 2012 R2(64bit)
- Windows Server 2016(64bit)
- Windows Server 2019(64bit)
- Windows Server 2022(64bit)

### 2. 動作要件について

本商品の動作要件は、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software (Arcserve Backup)」から、「動作環境」を参照ください。

### 3. アップグレード権について

本商品には、アップグレード権が含まれています（納品日より1年間または5年間有効）。

アップグレード権の有効期間中に新バージョンがリリースされた場合、最新のソフトウェアを入手頂くことができます。

なお、本商品のアップグレード権証書は、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

### 4. 本商品と最新のパッチモジュールについて

本商品は、Arcserve社ではArcserve Backup 19.0商品にあたります。

本商品を使用する際、「関連URL」の「Arcserve社（技術情報）」のWebサイト内の「Arcserve Backup Patch Index」より、最新のパッチモジュールをダウンロードし、本商品をインストール後に適用することを推奨します。

### 5. インストールについて

本商品は、ライセンスキーのみ提供されます。インストールプログラムは、Arcserve Backup 19 for Windows製品のDVDを使用してください。

また、インストールにはDVD-ROMユニットが必要です。本商品とPRIMERGYを同時手配する場合には、DVD-ROMユニット搭載の有無をご確認の上、必要に応じて手配してください。

なお、既にお持ちのPRIMERGYにDVDで提供される機能のインストールを行う場合には、Windowsのファイル共有を利用したネットワークインストールが可能です。（ただし、ローカルのDVD-ROMユニットと比べて作業時間を要します。）

### 6. 最新の注意/制限事項について

本商品における最新の注意/制限事項については、「関連URL」の「Arcserve 社（技術情報）」のWebサイトを参照ください。

### 7. ライセンス登録について

本商品に同梱されている「アップグレード権証書」には、商品のライセンス登録に必要な情報が記載されています。ライセンス登録の詳細は、「関連URL」の「Arcserve 社（ライセンスキー登録）」のWebサイトで掲載されている、ライセンスキーの登録に関するドキュメントを参照ください。

また、これらの情報およびパッケージは、紛失されても再発行できませんので、大切に保管してください。

### 8. ゲストOSへのインストールについて

ゲストOSがWindowsの場合、使用するバックアップモードによって、ゲストOS毎に本商品をインストールしてください。（下表を参照）

仮想環境	モード		
	rawモード	ファイルモード	混在モード
VMware	○	×	VDDK使用時：○ Client Agent使用時：◎
Hyper-V	○	◎	◎

記号の説明

- ◎：インストール必須
- ：ファイルレベルでのリストアを許可するバックアップジョブ運用時にインストールが必要
- ×：インストール不要

## 9. ゲストOSへのインストールする場合のライセンス登録について

ゲストOSのリモートバックアップ運用のために、本商品には、以下の製品と同等のライセンスが含まれています。

- ・Arcserve Backup 19 for Windows Agent for Open Files（仮想環境用：ライセンス登録不要）
- ・Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux

ゲストOSに Client Agent for Linuxをインストールする場合、別途ライセンスの登録が必要です。

## 10. ゲストOSのシステムバックアップ/リストアについて

(1) ゲストOSのシステムのバックアップは、rawモードまたは、混在モードのフルバックアップにて行ってください。（ファイルモードは不可）

(2) クラウド上のゲストOSのシステム領域のデータはリストアできません。

システム領域のバックアップ/リストアは、クラウドベンダーが提供するバックアップサービスを利用ください。

## 11. ゲストOSがWindows Server 2012以降の場合の留意事項

(1) VMware環境上の仮想マシンでは、以下の動作はサポートしていません。

- ・ReFSのデータに対するrawモード以外のバックアップ（ファイル単位のリストアを有効にしたrawモードも不可）
- ・NTFS データ 重複除去 ボリュームのファイルモード バックアップ
- ・記憶域スペースを持つ構成の仮想マシンのバックアップ
- ・System Volume Informationフォルダが暗号化/圧縮されている場合、NTFS重複除去ボリュームのバックアップからファイル単位でリストア

(2) Hyper-V環境上の仮想マシンでは、以下の動作はサポートしていません。

- ・ReFSのデータに対する、ファイル単位のリストアを有効にしたrawモードのバックアップ



- ・記憶域スペースを持つ構成の仮想マシンに対するrawモードのバックアップ（ファイル単位のリストアを有効にしたrawモードも不可）
- ・System Volume Informationフォルダが暗号化/圧縮されている場合、NTFS重複除去ボリュームのバックアップからファイル単位でリストア
- ・バックアップ元と異なるリモート共有への仮想マシンのリストア

## 12. ゲストOSがWindows Server 2019以降の場合の留意事項

ゲストOSが重複除去を有効にしたReFSボリュームを持つ Windows Server 2019以降の環境では、rawモードや混在モードによるバックアップは対応しません。

## 13. VMware環境で使用する際の留意事項

- (1) RDM領域のデータをバックアップ・リストアする場合は、ゲストOSに本製品をインストールし、物理マシンと同様な運用イメージで、Arcserve本体へリモートバックアップ・リストア運用を行ってください。（vStorage APIを使用した運用はサポートしていません）
- (2) 独立モードが設定された仮想ディスクは、サポートしていません。

## 14. VMware環境でのVADPによるバックアップ運用時の留意事項

- (1) Windows Server 2022はVMwareのバックアップ プロキシとして使用できません。
- (2) バックアップ時、バックアッププロキシサーバのローカルドライブにバックアップ対象のゲストOSのデータがマウントされます。
- (3) バックアップ・リストア等のジョブ実行中にVMotion機能を動作させないでください。
- (4) VMware vSphere Fault Tolerance環境上の仮想マシンは、VADP経由でのバックアップを行えません。
- (5) ゲストOSがLinux環境の場合、VADPを使用した差分バックアップは行えません。（Client Agent for Linuxを使用した差分バックアップとなります）

## 15. Hyper-V環境での運用時の留意事項

- (1) rawモード以外のモードでバックアップジョブを実行する際は、バックアップ対象のゲストOSが動作している必要があります。
- (2) Hyper-Vクラスタ環境において、同じ CSV(Cluster Shared Volume) 領域内に、複数のゲスト OS が複数のホストノードに分散している環境では、それぞれのホストから並列にバックアップ・リストアを行わないでください。
- (3) Quick Migration および Live Migration 実行中のジョブの実行はサポートしていません。
- (5) Hyper-V クラスタ環境において、raw モードでバックアップしたゲスト OS を復旧する場合は、以下の点に注意ください。
  - ・フェールオーバークラスタマネージャー上のゲスト OS の各クラスタ登録情報は復旧されません。復旧後、手動で再登録を行ってください。
  - ・CSV 領域上のゲスト OS は、CSV 領域にリストアしてください（通常のクラスタボリュームへのリストアは行わないでください）。
  - ・復旧対象のゲスト OS の構成ファイルおよび登録情報をあらかじめ削除してください。

## 16. VMware, Hyper-V, Linux仮想マシン機能(KVM) 仮想環境上へのAgent導入について

- (1) 仮想環境上へのAgent導入は、以下の全ての条件に合致する環境に限りサポートします。
  - 富士通がゲストOSとしてサポートする OS
  - Arcserve Backup 19 Client Agent for Windows または、Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux がサポートする OS (Windows Server 2008 (x86)を除く)また、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。  
また、ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。
- (2) 本商品をインストールした仮想マシン上のオープンファイルをバックアップする場合は、本商品に含まれる Agent for Open Files の機能が使用できます。

(3) VMwareが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- VMware vSphere vMotionにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- VMware vSphere High Availabilityにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- VMware vCenter Site Recovery Managerで本商品を使用する場合は、保護サイトと復旧サイトのそれぞれに本商品を導入してください。
- VMware vSphere Fault Toleranceにおける切り替え中の動作は、サポートしません。

(4) Hyper-Vが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- クイックマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。
- フェールオーバーにおける切り替え中の動作は、サポートしません。

(5) KVMが提供する機能に関する留意事項は、以下の通りです。

- ライブマイグレーションにおける切り替え中の動作は、サポートしません。

---

## 17. FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 / FJcloud-V / for Microsoft Azure / for AWS の仮想マシン上への導入について

仮想マシン上への導入は、Arcserve Backup 19 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle商品に含まれる以下の商品をインストールします。

- ・ Windows環境
  - Arcserve Backup 19 Client Agent for Windows
- ・ Linux環境
  - Arcserve Backup 19 Client Agent for Linux

なお、サポート範囲は物理環境上のサポートと同等とし、ゲストOS上で問題が発生した際、物理環境の再現を求める場合があります。

また、ゲストOS上でのみ発生する動作や性能低下は保証いたしません。

(2) 仮想マシンへのシステム復旧はサポートしません。

(3) 以下の環境でのLinuxのシステムおよび、rawパーティションのバックアップは、サポートしません。

- ・ Red Hat Enterprise Linux 6 (for Intel64)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 6 (for x86)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)

---

## 18. マルチベンダーサーバおよびパブリッククラウドのサポートについて

本商品では、富士通SupportDeskで他社機での動作をサポートいたします。

なお、サポートには条件があります。

サポート条件の詳細は、「関連URL」の「FUJITSU Software (Arcserve Backup)」内の「サービス&サポート」を参照してください。

---

## 19. Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入について

Microsoft Azure Stack Hub 環境の仮想マシン上への導入は、サポートしません。

---

## 20. サポートバンドル商品の内容について

(1) サポートの内容

サポートバンドル商品には、富士通が提供するSupportDeskサービスである「平日サポート」「24時間サポート」の2種類があります。サービス時間帯は以下の通りです。

- ・ 平日サポート：月曜日～金曜日 8:30～19:00(祝日および12月30日～1月3日までは除く)
- ・ 24時間サポート：24時間365日

## (2) サポートサービスの期間

Arcserve商品に関するサポート期間は、Arcserve社に準じたサポート期間となります。このため、本商品のサポートサービス期間中にArcserve社がサポート終了した場合は、アップグレード権を行使し最新バージョンへアップグレード頂くご対応をお願いする場合があります。

なお、Arcserve社のサポート終了日から1年間は、富士通独自のサポートサービスとして、富士通内部のナレッジに基づく既存事例の検索による既存修正の提供、または回避策の提示による問題解決支援を行います。

---

## 21. 旧バージョン(18.0)との違い

本商品より、以下の環境での動作には対応していません。

- Windows Server 2008(64-bit)
- Windows Server 2008 R2(64-bit)

### お客様向けURL

- **FUJITSU Software（Arcserve Backup）**  
本商品の詳細情報を記載しています。  
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/partners/partners/arcserve/products/backup/>
- **Arcserve社（製品情報）**  
本商品の詳細情報を記載しています。  
<https://www.arcserve.com/jp/arcserve-tape-backup-software>
- **Arcserve社（技術情報）**  
本商品の技術情報および、最新の注意/制限事項を記載しています。  
<https://support.arcserve.com/s/topic/0T01J00000013phWAC/arcserve-backup?language=ja>
- **Arcserve社（ライセンスキー登録）**  
Arcserve商品のライセンスキーの登録について記載しています。  
<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/licensing/>